

胎内市在宅医療・介護連携施策・指標マップ

番号	D個別施策アウトプット (アウトカム達成のために取り組むこと)	指標	番号	C初期アウトカム (中間アウトカムを達成するために必要な状態)	指標	B中間アウトカム (最終アウトカムを達成するために必要な体制)	指標	A最終アウトカム	指標
1	入退院連携ガイドの検討		1	入退院時に、本人の生活状況と意思が共有できる。		【入退院支援】 本人の意思を尊重した、生活が見える入退院支援ができる。		(住民のあるべき姿)	指標
2	本人・家族を含めた退院時カンファレンス・担当者会議の開催		2	退院時に本人の身体状況を家族や介護・医療従事者と共有し、在宅生活の支援方法に対して共通認識が持てる。					
3	社会資源マップの周知		3	地域資源の情報を入手しやすくなる。					
1	多職種業務の役割及び連携に関する意見交換会の開催		1	在宅医療体制の現状や課題を明らかにし、取組の方向性を考えることができる。		【日常の療養支援】 地域で見守られながら、本人の望む療養支援体制を整える。		地域とつながりを送ることをもちながら、住民が望む人生	指標
2	看看連携のためのヒアリング		2	他分野・他施設の看護職が、互いの役割を知り、連携することができる。					
3	「医療と介護が必要になった場合における地域とのつながりの変化に関する実態調査(仮)」の実施		3	医療や介護が必要な状況になり、自由に行動することが困難な状況になっても、地域の人や友人が本人の気持ちを尊重し、日々の生活を見守る関係が保たれる。					
1	地域医療体制に関する住民向け出前講座の開催		1	家族・支援者が急変時にあわてない対応方法を知っている。		【急変時の対応】 急変時に取るべき対応が、本人・家族・支援者と共有されている。		指標	指標
2	急変時の対応方法について担当者会議で共有		2	急変時の受入体制について、 <u>住民の</u> 理解が深まっている。					
3	本人の意思を共有できるツールの作成		3	急変時に対する本人の意思が関係者と共有できる。					
1	看取り研修会の開催		1	本人の看取りの意思を関係者と共有できる。		【看取り】 本人が望む看取りを、地域で実現する体制を整える。		指標	指標
2	ときネットを活用しての成功事例を共有する研修会の開催		2	看取りの体制に関する課題を共有し、解決策を見出す。					
3	各事業所における看取りの体制のヒアリング		3	住民が看取りについて理解を深める。					
4	住民向け出前講座の開催								